

「もっと早く知りたかった！」の声、続々！

# Microsoft 365 の はじめかた

中小企業のための、やさしい導入ガイド

導入編 ①

「多機能すぎて、何ができるかわからない」

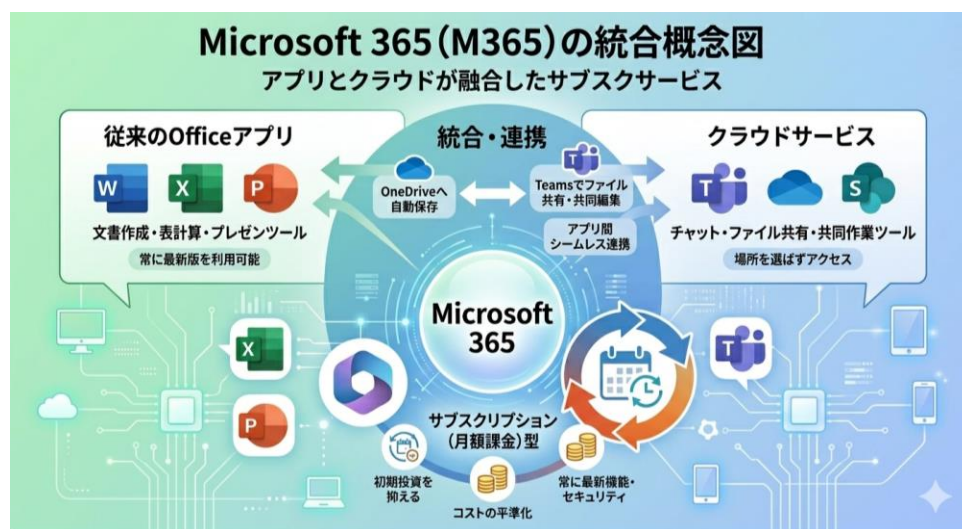
「今のOfficeと、いったい何が違うの？」

Microsoft 365 の導入を検討される中小企業のお客様から、私たち KICS がもっとも多くいただくご質問です。本書は、これから M365 を導入される方、すでに導入していて「もっと活かしたい」とお考えの方に向けて、専門用語を避け、やさしくまとめた手引きです。貴社の導入・活用・運用にぜひお役立てください。

## Microsoft 365 とは

——慣れ親しんだOfficeに、クラウドが融け合う。

Microsoft 365（以下 M365）は、慣れ親しんだ Office アプリ（Word・Excel・PowerPoint）に、クラウドサービス（Teams・OneDrive・SharePoint）を統合した、月額制のサブスクリプション・サービスです。



### こんな業務に効きます

- リモートワーク／ハイブリッドワーク
- 社内外のチームでの共同作業
- 高水準のセキュリティが求められる業務

Office に  
クラウドが組み  
合わさって、  
ぐんと使いやす  
くなったのですね！



▶ 次のページでは、具体的にどんな業務シーンで力を発揮するのかをご紹介します。

M365 初心者の 神田ちゃん

# M365が力を発揮する、4つの業務シーン

— あなたの会社にも、きっと「使える場面」があります。

## 01 リモートワーク／ハイブリッドワーク

場所も端末も問わず、同じ業務環境に

インターネット環境さえあれば、オフィスにいらなくても、自宅でも、出張先でも、同じ業務環境で仕事を続けられます。「在宅でも、出社時と同じ仕事ができる」——それがM365の標準です。

## 02 チームでの共同作業・ファイル共有

ペーパーレスと業務スピードを、同時に

クラウドストレージ「OneDrive」「SharePoint」を利用し、紙の資料をデータ化・共有することで、ペーパーレス化を実現します。一つのファイルを複数人で同時編集することも可能。確かなDXの第一歩です。

## 03 常に最新環境での業務

バージョンアップの手間やコストを削減

常に最新版のOfficeアプリと新機能が自動で提供されます。社内のPC一台ずつにインストールしたり、ライセンスを台帳で管理したりする手間と費用から解放されます。

## 04 高水準のセキュリティ

IT専任者がいなくても、安心の業務環境を

個人情報・機密情報を扱う業務でも、クラウド上の機能で容易に守れます。多要素認証、デバイス管理、暗号化通信——大企業レベルの防御を、中小企業でも実現できます。

COMPARE — 導入前と導入後、ここまで変わる。

項目	導入前（これまでのやり方）	M365 導入後	経営上のメリット
コスト	突発的な修理費・買替費が発生	毎月一定のサブスク費用	経費の平準化と予算管理の容易化
働き方	会社に行かないと仕事ができない	場所を問わず、どこでもオフィスに	採用力強化と移動コスト削減
安全面	担当者任せ	世界水準の自動セキュリティ	情報漏洩リスクの大幅な低減
情報の質	個人がバラバラに管理（属人化）	チーム全体でリアルタイム共有	意思決定のスピードアップ
サポート	メーカー電話、繋がりにくい	専任コンシェルジュが直接対応	業務停止リスクを最小化

### POINT

日々 Word・Excel を使い、Teams でつながる——そのワークスタイルにとって、**M365 はもっとも費用対効果の高い選択肢です。**

これだけ幅広く使えて、安心。中小企業の強い味方ですね！



# 経営者・現場から、もっとも多いご質問

—— 私たち KICS が、ひとつひとつ、ていねいにお答えします。

## Q1

[費用対効果 / ROI]

結局、いくらかかって、  
いつ元が取れるの？

## A

「見えないコスト」がどれだけ減るか——  
それが、判断のカギです。

月額の利用料だけではありません。これまで気づきにくかった——サーバーの維持費、ソフトの保守費、ライセンス管理にかかる人件費、トラブル対応に費やす時間。これらをまとめて可視化し、投資回収のシミュレーションを数字でお示しします。「なんとなく」ではなく、ご納得いただける判断材料を、KICS がご用意します。

## Q2

[操作性 / 定着率]

社員（とくに年配層）に、  
使いこなせるかな？

## A

全機能を使う必要はありません。まずは「ちい  
さな成功体験」から。

M365 は多機能ですが、すべてを一度に使う必要はありません。まずはチャットや共有フォルダなど、効果を即実感できる機能から導入。部署単位の「スモールスタート」で広がっていきます。KICS は、定着するまで現場に寄り添う「伴走型サポート」をお約束します。

▶ 次ページ：セキュリティ・違い・サポート についてお答えします。



コストもメリットも  
ぜんぶ見える化  
してくれます！

# よくいただくご質問 - セキュリティ・違い・サポート

— 私たち KICS が、ひとつひとつ、ていねいにお答えします。

## Q3

[セキュリティ]

クラウドって、データが消えたり、流出したりしないの？

## A

Microsoft が世界水準の投資で守る環境は、自社対策よりはるかに安全です。

Microsoft は年間数千億円規模のセキュリティ投資を行っています。多要素認証、異常検知、自動バックアップ—— 大企業でも採用される高度な防御機能を、中小企業も標準で活用できます。

## Q4

[導入の必要性]

今の Office や無料ツール (LINE等) と、何が違うの？

## A

「個人の道具」から「チームの武器」へ——それが、最大の違いです。

情報の流れがチームで一本化されることで、意思決定が速まり、経営のスピードが変わります。業務データを個人のスマホに散らさず、法人として一元的に管理できる安心感も、大きなメリットです。

## Q5

[サポート体制]

トラブルが起きたとき、誰が助けてくれるの？

## A

KICS が、貴社の「身近なITコンシェルジュ」として伴走します。

Microsoft 公式サポートだけに頼らず、貴社を理解する専任担当者が直接対応。

アプリが動かない、設定が分からない—— そんな日常のお困りごとに、やさしい言葉で寄り添います。

## CLOSING

KICS は、あなたの会社の「身近なITコンシェルジュ」。

どんな小さなお困りごとでも、まずはご相談ください。

貴社の業務を深く理解した専任担当者が、導入の検討から運用・改善まで、長く伴走します。



### 合同会社 KICS

Microsoft 365 導入・運用支援 / IT コンシェルジュ・サービス

お問い合わせ : [pr@kics.llc](mailto:pr@kics.llc)

